

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 羽島特別支援学校 学校運営協議会 (第3回)
- 2 開催日時 令和8年2月25日(水) 10:00~12:00
- 3 会場 羽島特別支援学校 会議室東
- 4 参加者
- | | | |
|-----|--------|-----------------|
| 会長 | 安田 和夫 | 岐阜聖徳学園大学教育学部 教授 |
| 副会長 | 野口 和彦 | 大浦区長 |
| 委員 | 平井 崇広 | 万灯会まさき園施設長 |
| | 豊島 裕香 | 羽島市主任児童委員 |
| | 長澤 敦 | 長谷虎紡績株式会社総務部長 |
| | 高木 固里 | P T A会長 |
| 学校側 | 廣瀬 雅行 | 校長 |
| | 横山 知加子 | 事務部長 |
| | 岡田 一朗 | 教頭 |
| | 堤 鉄博 | 教頭 |
| | 松本 光央 | 小学部主事 |
| | 河野 美由紀 | 中学部主事 |
| | 篠田 裕之 | 高等部主事 |
| | 細江 紀吉 | 教務主任 |

5 会議の概要(協議事項) 議長(会長)による協議進行

(1) ロータスカフェ体験

(2) 校長より

高等部の卒業式が来週末にせまってきた。その次の週が中学部と小学部の卒業式である。学校全体が卒業生を送る雰囲気が濃くなった。温かく送り出そうと気持ちがあふれ、とても良い雰囲気である。本日は生徒会長と副会長に参加してもらい、生徒会活動の発表をしてもらう。高等部の生徒会を中心に全校集会等での全校交流活動を計画・実施してもらった。小学部の小さい子を気遣う姿が多く見られた。本日は今年度1年間を振り返って、検討していただきたい。

(3) 生徒会活動の紹介

令和7年度の生徒会活動について、生徒会長及び副会長より説明、紹介をする。

意見1 自転車乗車時のヘルメット着用で、生徒会で考えた「ヘルメリット」はとてもよく考えられていてよい言葉である。

質問1 今年度も終わりに近づいているが、生徒会でやり残したことはないか。

➡ みんなの笑顔が見たいから、そんな活動を計画したい。(生徒会長)

➡ 昼の放送で、給食の食材から野菜の豆知識や献立からダジャレにチャレンジしてみんなが笑顔で過ごせるようにしたかったが、もっと何かやりたかった。(副会長)

意見 2 生徒みんなの意見をまとめるのは大変だったと思う。この経験を生かして次のステップへ進んでほしい。

(4) 各部の成果と課題について

各部の今年度の主な教育活動について、部主事より画像を提示しながら説明したあと、成果と課題について言及した。

〈小学部〉 日常の授業風景 〈中学部〉 日常の授業風景
〈高等部〉 日常の授業風景、作業販売会の様子

質問 1 小学部で性教育の授業風景があったが、中学部と高等部でも行っているのか。

➡ 小学部：宿泊学習や修学旅行の事前学習として行っている。
中学部：水泳学習の事前学習として、プライベートゾーン等の学習を行っている。
高等部：人との距離感や異性とのかかわり等、長期休業前に行っている。

意見 1 男子便器での排尿の際、ズボンを足もとまで下げて用を足す子がいる。保護者から下着が濡れてしまうのが嫌なのではないかと指摘を受けるなど、保護者から教わることもある。

質問 2 前回の協議会に参加できなかったため、校内作業実習のねらいと実習内容を教えてほしい。

➡ 県内の特別支援学校でも同様に行っている。1年生の6月と10月のそれぞれ2週間、作業の完了やミスをした際の「報連相」など、就労に必要な力つけるねらいで行っている。実習の内容は、お世話になっている企業から内職的な仕事を提供してもらい、ほぼ一日作業を行っている。

質問 3 販売会の様子をこれまでに何度も見させてもらっているが、会計のレジの担当が生徒ではなく、教員が行っているのはなぜか。会計の仕事を経験することは社会生活では大切なことと考えるが・・・。

➡ 部分的には生徒も行うこともある。しかし、県の費用から原材料や消耗品等を購入して製品づくりを行なっているため、会計は絶対に間違えられないことから、生徒が完全に会計を担当することはない状況である。

質問 4 現場実習先を決めるのは本人の希望なのか、教員が決められているのか。

➡ まずは生徒本人の希望や保護者の希望から聞き、担任や進路担当者と相談して決める。生徒本人の実態からよく相談したうえで適した事業所を決めている。

意見 2 県も進めている小学部の異学年交流を取り入れてほしい。

(5) 令和8年度学校預り金について

令和8年度学校諸費等年間納付額について

6 会議のまとめ

生徒会活動の紹介から、生徒が主体的に生徒会活動を活発に行っていることが、生徒会長を願う「笑顔あふれる学校」になりどの子ども学校生活が楽しいと思えることにつながっているため、これからも生徒会活動を充実させていくことが必要であることが再確認できた。

保護者や一般の方の目線からの評価や今後の教育活動の方向性を示唆することができた。来年度の学校運営並びに教育活動に反映し、実践する。